

## **【定期の報告書作成方法】**

定期の報告書の作成方法について簡単に説明します。

### **[用紙について]**

「表紙」、  
「事業場別特定自動車台数」、  
「特定自動車NO<sub>x</sub>・PM排出量」、  
「適正運転の実施等及び車両走行量の削減の実施状況」、  
「特定自動車代替状況、排出ガス低減装置装着状況」  
に必要事項を記載してください。  
(定期の報告書となります。)

### **[排出量算出に必要な資料について]**

車両の排出量を算定するには、排出係数表が必要になります。  
排出係数表を参照して定期の報告書を作成してください。

宛先は、当該運輸局長宛てで  
お願いします。

作成年月日を記入してください。平成 年 月 日

記入用紙A  
表紙

殿

〒	—
住所	
フリガナ	
氏名	

会社等の住所、名称、フリガナ、  
代表者名を記入してください。

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

### 定期の報告

自動車から排出される窒素酸化物及び粒子状物質の特定地域における総量の削減等に関する特別措置法第18条に基づき、特定自動車の使用管理計画に関する定期の報告を次のとおり提出します。

特定事業者の氏名又は名称	名称、所在地を記入してください。		
当県(都、府)における 主たる事業場の所在地	〒	—	
使用する特定自動車の台数	台 「事業場別の特定自動車の台数」で記入された 事業者の使用台数の合計を記入してください。		
業種名		番号	
従業員数			
担当者氏名及び連絡先	所属・氏名		
	電話		
	FAX		
	Eメール		

「事業場別の特定自動車の台数」  
で記入された事業者の従業員数の  
合計を記入してください。

業種名、番号は、下記から選択して記入してください。  
・道路旅客運送業 43  
・道路貨物運送業 44

記載した担当者の所属、氏名、電話番号、  
FAX、Eメールアドレスを記載してください。  
電話番号に内線がある場合は、内線番号も記載してください。

# 事業場別の特定自動車の台数

平成 年 月 日現在

事業場コード		1	2	3	記入用紙B 事業場別特定自動車台数1			
事業場の名称								
事業場の所在地		営業所等の名称、住所、電話番号、従業員数を記入してください。 事業場等が5箇所以上の場合は、別紙に記載してください。						
事業場の連絡先								
従業員数								
種類	車両総重量	合計	台数	台数	台数	台数	台数	
普通貨物自動車	1.7t以下							
	1.7t超～ 2.5t以下	各営業所等で使用されている自動車の台数を種類、 車両総重量別に記入してください。 乗用車、被牽引車は車両総重量別に分ける必要はありません。						
	2.5t超～ 3.5t以下							
	3.5t超							
小型貨物自動車	1.7t以下							
	1.7t超～ 2.5t以下							
	2.5t超～ 3.5t以下							
	3.5t超							
大型バス	1.7t以下							
	1.7t超～ 2.5t以下							
	2.5t超～ 3.5t以下							
	3.5t超							
マイクロバス	1.7t以下							
	1.7t超～ 2.5t以下							
	2.5t超～ 3.5t以下							
	3.5t超							
特種自動車	1.7t以下							
	1.7t超～ 2.5t以下							
	2.5t超～ 3.5t以下							
	3.5t超							
乗用自動車								
合計								
被牽引車								

# 事業場別の特定自動車の台数

平成 年 月 日現在

事業場コード							
事業場の名称							記入用紙C 事業場別特定自動車台数2
事業場の所在地	営業所等の名称、住所、電話番号、従業員数を記入してください。 事業場コードは、記入用紙Bからの連番で記入してください。						
事業場の連絡先							
従業員数							
種類	車両総重量	合計	台数	台数	台数	台数	台数
普通貨物自動車	1.7t以下						
	1.7t超～ 2.5t以下						
	2.5t超～ 3.5t以下						
	3.5t超						
小型貨物自動車	1.7t以下						
	1.7t超～ 2.5t以下						
	2.5t超～ 3.5t以下						
	3.5t超						
大型バス	1.7t以下						
	1.7t超～ 2.5t以下						
	2.5t超～ 3.5t以下						
	3.5t超						
マイクロバス	1.7t以下						
	1.7t超～ 2.5t以下						
	2.5t超～ 3.5t以下						
	3.5t超						
特種自動車	1.7t以下						
	1.7t超～ 2.5t以下						
	2.5t超～ 3.5t以下						
	3.5t超						
乗用自動車							
合計							
被牽引車							

# 特定自動車NOx・PM排出量

## 記入用紙D 特定自動車NOx・PM排出量1

	事業所合計		1台当たり平均		走行距離(1km) 当たり平均	
	実績	目標	実績	目標	実績	目標
NOx排出量(kg)	実績		実績			
	目標		前年度実績			
	達成率(%)		前年度比			
PM排出量(kg)	実績		実績			
	目標		前年度実績			
	達成率(%)		前年度比			
CO <sub>2</sub> 排出量(t)	実績		実績			
	目標		前年度実績			
	達成率(%)		前年度比			

Nox、PM、CO<sub>2</sub>の排出量の実績と目標、達成率、削減率1台当たりの平均排出量(実績、前年度対比)、走行距離(1km)当たりの平均排出量(実績、前年度対比)を計算し、記入してください。

例 Noxの排出実績が1207.75kg、目標が1050kgの場合、  
 $1050 \div 1207.75 \times 100 = 86.9\%$  になります。  
 同様にしてPM、CO<sub>2</sub>の達成率を算出して入力してください。

注)走行距離当たりの単位はNOx,PMは(g),CO<sub>2</sub>は(kg)。

### 車両毎の排出量

番号	事業場コード	ナンバープレート				初度登録年月	自動車の種別	型式	車両総重量(kg)	燃料種類	後付け装置		年間走行距離(km)	年間燃料給油量	排出係数			燃費	排出量					
		使用の本拠	分類番号	文字	指定番号						NOx・PM低減	PM低減			NOx	PM	CO <sub>2</sub>		NOx(kg)	PM(kg)	CO <sub>2</sub> (t)			
1																								
2																								
3																								
4																								
5																								
6																								
7																								
8																								
9																								
10																								
11																								
12																								
13																								
14																								
15																								
16																								
17																								
18																								
19																								
20																								
21																								
22																								
23																								
24																								
25																								

事業場コードは、「事業場別の特定自動車の台数」の事業場コードを記入してください。

使用の本拠、分類番号、文字、指定番号と4つの項目がありますが、以下を参考に記入してください。

品川 500  
さ 23-45

略称  
 使用の本拠・・・品川  
 分類番号・・・500  
 文字・・・さ  
 指定番号・・・2345  
 このように記載してください。

後付け装置について  
 ・「Nox・PM低減」装置がついている場合は、「1」、無い場合は空欄にしてください。  
 ・「平成17年規制適合車」は「H17」「平成15年規制適合車」は「H15」装置が無い場合は空欄にしてください。

燃費は、年間走行距離を年間燃料給油量で割って求めてください。

NOx・PM、CO<sub>2</sub>排出量(1台当たり)の算定について  
 ・NOx・PMの排出量の算定式は次のとおり  
 [車両総重量3.5t以下の車両]  
 $排出係数(g/km) \times 年間走行距離(km)$   
 [車両総重量3.5t超の車両]  
 $排出係数(g/km/t) \times 年間走行距離(km) \times 車両総重量(t)$   
 ・CO<sub>2</sub>の排出量の算定式は次のとおり  
 $排出係数(kg/給油量の単位) \times 年間燃料消費量(給油量の単位)$   
 ※排出係数は排出係数表をご覧ください。  
 ※後付け装置が装着されている場合は、排出係数は排出係数表の「後付け装置の装着車両の扱い」をご覧ください、算定してください。

給油量の単位

ガソリン及び軽油(L),CNG(m<sup>3</sup>),LPG及びメタノール(kg),電気・燃料電池(kwh)

燃費の単位

ガソリン及び軽油(km/L),CNG(km/m<sup>3</sup>),LPG及びメタノール(km/kg),電気・燃料電池(km/kwh)



## 車検証の内容と入力項目について

① ナンバープレート      初度登録年月      車種 ③

平成 年 月 日      ○○運輸支局長

自動車検査証

登録年月日/交付年月日	初度登録年月日	自動車の種別	用途	自家用・事業用の別	車体の形状			
自動車登録番号又は車両番号	年月日	年月日	乗車定員	最大積載量	kg	車両総重量は、この数字		
車名	番号	長さ	幅	高さ	kg	前前軸重	前後軸重	後前軸重
排出ガス記号とは:ハイフン(ー)前のアルファベット記号を言う	型式	原動機の型式	燃料の種類	kg	kg	kg	kg	kg
型式	型式	型式	燃料の種類	kg	kg	kg	kg	kg
所有者の氏名又は名称	型式	燃料の種類 ⑥						
所有者の住所								
使用者の氏名又は名称								
使用者の住所								
使用の本拠の位置								
有効期間の満了する日	年月日	年月日						
備考								

④      ⑤      ⑥

ナンバープレート      ①の部分になります。

初度登録年月      ②の部分になります。入力年は西暦になります。

車種      ③の部分になります。

型式      ④の部分の頭の部分の2桁又は3桁のアルファベットになります。

重量      ⑤の部分になります。車両総重量ですので間違わないでください。

燃料の種類      ⑥の部分になります。

## <参考> 年間走行距離、年間燃料給油量について

年間走行距離、及び年間燃料給油量は、年度内（4月1日から翌年3月31日まで）の合計値を入力してください。

### 1. 年間走行距離の求め方

走行距離に関する記録がある場合は、それを利用してください。

記録がない場合で、車検証の備考欄に旧走行距離計表示値と走行距離計表示値の表示がある場合には、当該表示値の差から年間走行距離を求めて下さい。

旧走行距離計表示値と走行距離計表示値の表示が古い場合でも、年度によって大きな差がない場合には、その値を利用して求めて下さい。

走行距離に関する資料が何もない場合には、次のように求めてください。

まず、地図を利用して通常走るルートを考えて、大まかな1日当たりの走行距離を求めてください。

次に、当該1日当たりの走行距離を基に、一月の平均的運行回数を考えて一月あたりの平均運行距離を12倍し、年間走行距離を求めてください。

### 2. 年間燃料給油量の求め方

年間燃料給油量に関する記録がある場合には、それを利用してください。

記録がない場合は、今後1ヶ月間の給油伝票等を集め、当該伝票の合計から一月あたりの燃料給油量を算出し、それを12倍して年間燃料給油量を求めてください。

適正運転の実施等及び車両走行量の削減の実施状況

記入用紙F  
適正運転の実施等及び  
車両走行量の削減の実施状況

計画事項	実施項目	内
車両の有効利用の促進	適正運転の実施	エコドライブマニュアルの作成、配布
		エコドライブに関する教育、訓練の実施
		エコドライブの実施(空ぶかし、急発進・急加速運転等の削減等)
		アイドリングストップの徹底
		デジタル式運行記録計等の活用
		優良ドライバーの表彰
	その他	
	車両の維持管理	日常点検・整備マニュアルの作成、配布
		日常点検・整備に関する教育、訓練の実施
		日々の始業点検・定期点検の完全実施
エアークリーナーの定期的な点検		
運転日報の作成		
その他		
共同輸配送の促進	物資の集荷、仕分け業務の共同化(積載効率、輸送効率の向上)	
	配送業務の共同化(輸送距離、使用車両の削減)	
その他		
帰り荷の確保	配送と集荷を1台で実施できるように工夫	
	その他	
ジャスト・イン・タイムサービスの改善	時間指定配送の回数の低減を要請	
	その他	
受注時間と配送時間のルール化	受注時間と配送時間の設定(ルール化)	
	緊急配送をできるだけ避ける(随時配送の廃止)	
	その他	
検品の簡略化	検品のルーチン化による時間の短縮	
	その他	
道路混雑時の輸配送の見直し等	朝ラッシュ時の配送を昼間配送に振替	
	積載効率が低い土曜日、日曜日の車両使用の削減	
	その他	
商品の標準化等	積み合わせを容易にするため商品荷姿を標準化	
	その他	
モーダルシフトの推進	鉄道輸送の活用	
	海運の活用	
	その他	
公共交通機関の利用の促進	鉄道、バス等の公共交通機関の利用	
	自転車、徒歩による移動	
	マイカー通勤の禁止	
	カーシェアリングの導入	
	その他	
情報化の推進	車載端末、パソコンによる配車システムの導入・拡大	
	燃費等の記録管理	
	VICS搭載カーナビゲーションシステム等による渋滞回避	
	ETCの導入	
	その他	
物流施設の高度化、物流拠点の整備等	既存施設の機械化・自動化など	
	荷受け、仕分け業務の効率化のための物流拠点の整備	
	荷捌き場、駐停車場所、運転手控室などの整備	
	路上駐停車の自粛	
その他		
その他	ISO14001の認証を取得	
	エコアクション21等の環境マネジメントシステムの認証を取得	
	グリーン経営認証の取得	
	環境報告書の作成	
	その他	

上記についての特記事項(独自の取組について記載してください)

実施内容に該当するものがあれば、実施項目欄にチェックを記入してください。

独自の取組が行われた場合は、こちらに記入してください、記入欄が不足する場合は、別途用紙を追加してください。



特定自動車代替状況、排出ガス低減装置装着状況

記入用紙G  
特定自動車代替状況、  
排出ガス低減装置装着状況

	計画作成時の台数 平成3月31日現在	平成 年度			平成 年度			平成 年度			平成 年度			保有台数 (年度末)	
		減少台数	新規使用台数	合計	減少台数	新規使用台数	合計	減少台数	新規使用台数	合計	減少台数	新規使用台数	合計		
天然ガス															
ハイブリッド															
(ハイブリッド・LPG除く)	新・☆☆☆														
	新・☆☆☆☆														
	他														
(ハイブリッド軽油除く)	新長期														
	超低PM☆☆☆														
	他 超低PM☆☆☆														
電気															
メタノール															
燃料電池															
合計															
うち低公害車の合計															
うち排出ガス低減装置装着車の合計															

計画作成時の年度を記入してください。

該当年度を記入してください。自動車使用管理計画書の「特定自動車代替計画、排出ガス低減装置装着計画」と同じ年度が入ります。

現状の台数、それぞれの年度の減少台数、新規使用台数、合計を記入してください。燃料種別と低排出ガスレベルで区別されていますので、排出係数表を参考に分類してください。

注1)・低公害車とは、天然ガス自動車、ハイブリッド自動車、ガソリン自動車又はLPG自動車のうち新☆☆☆以上の低排出ガスの認定を受けているもの、ディーゼル自動車のうち新長期規制適合車、電気自動車、メタノール自動車、燃料電池自動車とする。

注2)・排出ガス低減装置装着とは後付けした車両の台数とする。工場出荷段階で装着したものは含まない。